

第5回歴史の福井谷 『伝説の直谷城』体験ツアー

抜けるような真っ青な秋空に、くっきりと直谷城跡の木立が浮かぶ。そんな10月14日(月)、第5回歴史の福井谷『伝説の直谷城』体験ツアーを実施しました。

9時30分から開会式。和田さん、吉福さんから直谷城の概要を聞いた後、参加者(18名)は、昔の武士が携えていたであろう『腰兵糧(弁当)づくり』を体験。古代米や玄米、白米のおにぎりと共に、めざしや漬物などをハランで巻きました。

その弁当を持って、10時に『いざ登城!』。今回は2つのグループに分かれ、ガイドを和田さんと末永が担当、追手道から『主郭』を目指しました。途中、『土塁と空堀』『井戸跡』などを案内し、今回初めて案内する『矢石』へはロープを使って登りました。ちょっとしたサバイバル感覚で、大人も子どもも楽しそうでした。

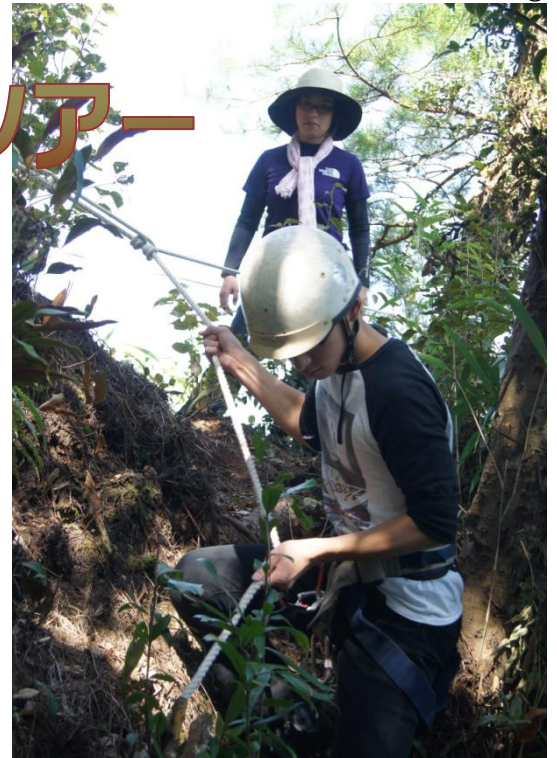
麓から標高約80メートルを登った所が『一の郭跡』。ここでは『安徳天皇の伝説』を案内し、『姫落としの伝説』が残る切り立った岩を眺める体験、縄文弓による『射的体験』などを行いました。射的は今年も大変な人気でした。

昼食の『腰兵糧』も「おいしい」という声があちこちから聞かれました。

13時、「二の郭」から「搦手道」を通り城跡を後にしました。向かう先は『史蹟 福井洞窟』。ここでは発掘調査にあたった久村さんから、その貴重な調査の結果等について話をいただきました。

『直谷城主の墓』を巡り、再び公民館へ。「又こうしたイベントの時には参加したい」という声をいただき、再会を楽しみにイベントを終えました。

イベントの実施にあたってご協力をいただいた、北松山岳会の皆さん、早朝より炊き出し等を手伝っていただいた地域の皆さん、直谷城跡および史蹟福井洞窟の案内をいただいた県文化財保護委員の吉福さん、元佐世保市教委の久村さんに心より感謝いたします。



姫落としの断崖をロープで



腰兵糧づくり



追手道登り口で山城について



土塁と空堀の案内



矢石置き場にはロープを使って



今年も人気の縄文弓の射的体験



史蹟福井洞窟の調査結果の説明